

平成 29 年度
行政評価諮問事務事業に係る答申書

平成 29 年 12 月
愛南町行政評価委員会

目 次

<u>1 審議経過</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 - ~ - 2 -
(1) 評価した事務事業	・・・・・・・・	- 1 -
(2) 評価の手順	・・・・・・・・	- 1 -
(3) 会議の内容	・・・・・・・・	- 2 -
<u>2 当委員会の評価</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 3 - ~ - 9 -
(1) 評価の観点	・・・・・・・・	- 3 -
(2) 評価の種別	・・・・・・・・	- 3 -
(3) 評価の方法	・・・・・・・・	- 3 -
(4) 評価の決定	・・・・・・・・	- 4 - ~ - 9 -
<u>3 委員会委員名簿</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 10 -

1 審議経過

(1) 評価した事務事業

次の5つの事務事業について評価しました。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	政策の総合推進
	基本計画	基本事業	施策の総合推進
	事務事業		遺族会活動補助事業
担当課		保健福祉課	
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	廃棄物抑制とリサイクルの推進
	基本計画	基本事業	廃棄物の適正処理
	事務事業		不法投棄解消事業
担当課		環境衛生課	
3	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	公共交通の確保
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
	事務事業		生活バス路線維持対策事業
担当課		総務課	
4	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	観光・物産の振興
	基本計画	基本事業	観光PRの推進
	事務事業		愛南町観光協会活動事業
担当課		商工観光課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	確かな学力の向上
	事務事業		学校ICT管理事業
担当課		学校教育課	

(2) 評価の手順

- ① 事務事業担当課による内部評価を経た事業マネジメントシート(事後評価)及び附属資料により事業説明を受け、質疑応答を行いました。
- ② 行政評価シート(本書巻末に【資料】として添付)により各委員の評価を取りまとめ意見集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定しました。

(3) 会議の内容

次の3回の会議を開催しました。

回数	日時	主な審議内容
第1回	平成29年11月9日(木) 13:30~17:30 本庁3階 委員会室1	<ul style="list-style-type: none">・町長からの諮問・事務事業担当課からの事業説明及び質疑応答(その1)・質問事項及び追加要求資料の取りまとめ
第2回	平成29年11月16日(木) 14:00~17:00 本庁3階 委員会室1	<ul style="list-style-type: none">・事務事業担当課からの事業説明及び質疑応答(その2)・各委員による事務事業評価
第3回	平成29年11月27日(月) 13:30~16:00 本庁2階 第1会議室	<ul style="list-style-type: none">・各委員による事務事業評価の取りまとめと意見集約・各事務事業の評価決定・答申書(案)確認
答申	平成29年12月6日(水)	<ul style="list-style-type: none">・町長へ答申

2 当委員会の評価

(1) 評価の観点

次の観点により評価しました。

観点	意味
妥当性	・ 上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献) ・ 税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)
有効性	・ 意図に対して手段が有効か(成果状況) ・ 成果が向上する余地があるか(成果向上余地)
効率性	・ 現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1) ・ 他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

(2) 評価の種別

次の種別により評価しました。

種別		意味
維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
見直し	拡大	予算や人員などのコストの投入を拡大し、より大きな成果を上げることがめざす。
	縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	実施方法の改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
休止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
廃止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

(3) 評価の方法

評価に当たっては、各委員による「(1) 評価の観点」の「妥当性」、「有効性」及び「効率性」の評価を集計し（9名の委員がそれぞれの項目に対して1票ずつ投票）、「意見・提言」とともに討議の参考としました。最終的に当委員会の評価は、「(2) 評価の種別」から選択し、また、それへの解説を加えて決定としました。

(4) 評価の決定

次のとおり当委員会の評価を決定しました。

① 評価の一覧

事業			評価の種別	
1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	見直し／実施方法の改善
		施策	政策の総合推進	
	基本計画	基本事業	施策の総合推進	
	事務事業		遺族会活動補助事業	
担当課		保健福祉課		
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	見直し／実施方法の改善
		施策	廃棄物抑制とリサイクルの推進	
	基本計画	基本事業	廃棄物の適正処理	
	事務事業		不法投棄解消事業	
担当課		環境衛生課		
3	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	見直し／実施方法の改善
		施策	公共交通の確保	
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保	
	事務事業		生活バス路線維持対策事業	
担当課		総務課		
4	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり	見直し／実施方法の改善
		施策	観光・物産の振興	
	基本計画	基本事業	観光PRの推進	
	事務事業		愛南町観光協会活動事業	
担当課		商工観光課		
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	維持／このまま継続
		施策	学校教育の充実	
	基本計画	基本事業	確かな学力の向上	
	事務事業		学校ICT管理事業	
担当課		学校教育課		

② 評価の詳細

(- 5 - ～ - 9 - のとおり)

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	政策の総合推進
	基本計画	基本事業	施策の総合推進
	事務事業		遺族会活動補助事業
	担当課		保健福祉課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	3票	5票	1票	
有効性	1票	5票	3票	
効率性		6票	3票	
計	4票	16票	7票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・「戦争」について語り継いでいくこと、語り継ぐ場所を設けることは、税金を投入してもするべきだと思う。 ・恒久平和が大変重要な中、後世に伝えていくことを考えると継続が難しい現状ではあるが、大事な事業であると思った。 ・遺族会会員は減少傾向にあるが、戦没者の思いは忘れてはならない。よって、このまま継続しなくてはならない事業であると思う。 ・会員を増やす方策も早く打ち出すべき。(一般も加入できるような) ・遺族会が閉鎖的で認知していない人も多いのではないか。一般でも参加できる行事は広く知らせ、参加者を募ることもあっていいのではないかと思う。 ・今年度は遺族会青年部の新規発足に伴いその方向性を模索する時期であるため、成果指標に反映し難い面もあり単純には判断し難いが、青年部においてわずかながら新規の会員もいることから、愛南町としての慰霊行事は事業として継続する必要がある。 ・戦争の怖さ、絶対に駄目だということは必ず子供たちに伝えていかなくてはいけないと思うので、このような事業は必要だと考える。もっと、この事業の活性化を図るべきだと思う。 ・高齢化により会員数が減少傾向にあるので、次世代への引き継ぎを孫世代、もしくは遺族外の小中高生にも参加をしてもらい、活動を継続して欲しい。 ・遺族に限らず、子供(小・中・高)に学習としての参加の呼びかけをして欲しい。学校・地域と一緒に追悼式への参加を促して欲しい。 ・子供(次世代)が参加できる催し物等(講演も含む)もあればいいと思う。 ・小6の修学旅行で広島原爆ドームや長崎に向向き、戦争について学習することになっているので、町内の子供たちとの取組としてやりやすいと思う。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／実施方法の改善	補助金予算額については妥当であるが、会員数が減少している現況を踏まえると、それを増加させる策や各種行事への参加を促す取り組み及び当該事業が次世代へ引き継がれるような取り組みもあわせて検討いただきたい。

2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	廃棄物抑制とリサイクルの推進
	基本計画	基本事業	廃棄物の適正処理
	事務事業		不法投棄解消事業
担当課		環境衛生課	

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	4票	5票		
有効性	1票	5票	3票	
効率性		6票	3票	
計	5票	16票	6票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題は不法投棄や処分方法など、とても大きな問題になっている。ごみ問題をなくすことは難しいので、もっとしっかり取り組むべきだと考える。 ・不法投棄の解消活動にもっと力を入れ、住民一人一人の廃棄物適正処理の意識啓発を行うことが重要。 ・不法投棄巡視員による不法投棄の早期発見と防止が出来ている。 ・巡視員が、回っているルートを定期的にランダムに回ってみるのもいいのではないかと思う。 ・巡視員や巡視回数を増やして、投棄物発見の促進に努めるとよい。また、巡視員の待遇や勤務内容の改善を図り、人材の確保に努めるべきである。 ・監視員が高齢化しているみたいだが、「シルバー」にも呼びかけ人数を増やしてみたらよいと思う。 ・巡視員の活動を、服装やHPなどでもっとアピールしていくと成果が向上すると考えられる。 ・パトロールカーの回転灯は、法律に準ずる形で色等も考えて必ずつけるべきだ。それによつての抑止効果は絶大だと思う。 ・不法投棄防止啓発看板や監視カメラの設置で不法投棄の抑制になっているので、パトロール車が放送しながら活動すると更に町民の意識が変わってくるのではないかと思う。 ・少量の不法投棄を発見するため、車での巡視以外で工夫を行って欲しい。 ・除草作業は景観維持につながる。 ・除草作業は投棄物の減少と景観向上の効果も高い。 ・巡視員による活動を把握していない町民も多いと感じる。もっとPR（パトロール車の工夫、HPでのアピール）してほしい。それにより抑止の効果もあると思う。 ・広報以外での告知活動（集客性の高い施設内や公共施設への掲示や、一般家庭や各企業向けのごみを適切に処分できるような案内などを配布する）が必要。 ・別の防止、啓発策も打ち出してほしい。「町をきれいに」のようなアピールも、町民の意識を高める方策。 ・地道に地域にどんどん出向いて啓発活動をしてほしい。 ・不法投棄物発見の手段として、巡視員だけでなく、自治会などに赴いて地域の声を取り入れれば発見数の増加が見込める。また、ロコミより巡視活動が行われていることが広まり、投棄物の減少も見込める。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／実施方法の改善	<p>今後は、巡回コースや回数 of 工夫を図るとともに巡視員の活動をPRしつつ、町民の環境意識啓発のための新たな事業展開（例：地区単位での環境学習講座、環境がテーマの絵画展、作文コンクールなど）を検討いただきたい。また、各地区との連携を図り、不法投棄に対する取り組みへの協力体制が構築できよう努めていただきたい。</p>

3	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	公共交通の確保
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
	事務事業		生活バス路線維持対策事業
	担当課	総務課	

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	4票	3票	2票	
有効性	1票	4票	4票	
効率性	1票	2票	6票	
計	6票	9票	12票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化による利用者の減少にある中、バス事業、タクシー券助成など最大限の努力をされていると思う。 ・ なーしくんの愛南町公共交通の路線図と時刻表ができ、とってもわかりやすくなった。 ・ 交通手段のない町民にとっては必要不可欠な事業であるため、利用者が減少しても継続する妥当性は高いと思う。 ・ 現状としては成果が上がっておりとは思えないが、交通弱者の移動の確保としては有効。 ・ 将来的にはあいなんバスの運行を増やしていく等、経費の削減を検討していくことが必要。 ・ かなり難しい問題である。よい方策が見つからないもどかしさはあるが、町と民間バス事業者が更に話し合いにより策を期待したい。大きなバスを空に近い状態で走らせることに強い疑問を感じる。 ・ 現状では、補助金で民間バス事業者の運行が維持されている状況であるが、今後も経営改善は見込めず延々と支出が増加すると予測される。このため、以下の内容を毎年度精査する必要があると考える。 <ul style="list-style-type: none"> ①民間バス事業者に対する経営改善努力施策要請及び補助金額に上限を設ける。 ②愛南バスへの移行へ本格的な費用対効果の算定及び必要に応じて関係機関等への協議。 ③上記の継続及び移行に関する将来的な判断時期の制定。 ・ バスそのものに対する利用拡大策を町として取り組む必要があり、町の職員がバス通勤を率先して行うような方策が必要である。 ・ バスイベントがあれば子供も親も楽しめるかもしれない。（スタンプラリー等） ・ 自家用車を持っている人が増えてきたため、バスの利用を必要とする人が減ってきている。しかし、将来子供達が町を離れて都会へ出た際、乗車方法など知っておかないと困ることもある。小学生に乗り方教室を行っているのはよいと思う。 ・ 以前に比べると便利が良くなったので、普段自家用車で行っているところにバスで行ってみたい。 ・ 車を利用している方達にも、バスを使ってもらおうバスワンダフルデーを作ったらどうかと思う。（例：その日はなーしくんも一緒に乗るような形で） ・ 地域にそれぞれ出向いて、意見も聞いてほしい。 ・ 広い範囲で他の地域の調査も実施して参考材料を収集するのもいいのではないかと。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／実施方法の改善	バス路線をはじめとする公共交通の維持は交通弱者の利便性確保の観点から重要だが、民間バス事業者への補助金額については一定の限度額を設け、当該限度額を補助金交付からあいなんバスへの切り替えの判断基準とすべきと考えるので検討いただきたい。

4	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	観光・物産の振興
	基本計画	基本事業	観光PRの推進
	事務事業		愛南町観光協会活動事業
	担当課	商工観光課	

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	1票	8票		
有効性	1票	6票	2票	
効率性	1票	7票	1票	
計	3票	21票	3票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業において、町民の就労先が増えて利益が上がる具体的な施策が欲しい。 ・魅力ある資源の活用に期待する。 ・観光事業に関して、専門的な職員を増員することは今後の愛南町活性化に重要だと思う。 ・なーしくんは、ゆるキャラグランプリで必ず1位を取れるゆるキャラなので、ぜひトップをとるまで頑張ってもらいたい。全国区になったら収益等も違ってくるので楽しみである。 ・観光事業にみかん狩り（愛南ゴールド含む）を加えると、集客数が増えると思う。 ・健康志向が高まってきている中、今からの時代に合った商品開発も良いと思う。 ・ネット販売、なーしくんファンクラブ等を立ち上げ会費を募る等の様々なアイデアを公募し、コンテストをしてみてもよいのではないか。 ・法人化して町としてプラスになるならよい。予算化しているならやってみてはどうか。 ・法人化に向けた事業プランも期待したい。 ・既存のやりかたでは規制も多く発展の余地も少ない。逆に法人化は、規則も緩和され自由な発想で各種施策を行うことができる点については大いに希望が持てる。しかし、そのプランについてもその具体的な道筋が不明確であるため、その実施方法について今一度内部で協議するとともに、将来的にどのような計画で収益を得ることができるのかシミュレーションしなければ第三者には説明が難しいと思われる。このため、今後の行政評価においても、継続的に審議することが好ましいと考える。 ・法人化を見据えた組織の強化には大いに賛成するが、組織の確立及び実施されるまでに時間がかかるため、次年度の予算額については再考すべきだと思う。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／実施方法の改善	既存事業に対する支出については妥当であるが、法人化に向けた予算についてはその具体的な計画が定まった後の措置とするよう検討いただきたい。

5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	確かな学力の向上
	事務事業		学校ICT管理事業
	担当課		学校教育課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	3票	6票		
有効性	1票	7票	1票	
効率性	2票	3票	4票	
計	6票	16票	5票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT時代の中、どんどん進めるべきである。 ・ ICTを導入することで理解度が高まり、授業をおもしろく、飽きない学習になっていると思う。 ・ ICT機器を使用しての授業は子供達にとって内容がわかりやすく、関心、学習意欲を高めている。 ・ 通信簿等の業務がシステム化されたことで児童や生徒との触れ合う時間が増えた事は良いことであり、このまま継続してほしい。 ・ 遠隔授業なども大変素晴らしいと思うが、ICT機器の導入によって子供達の学習の格差や教職員のICT指導に偏りがあつたりしないか心配するところではある。 ・ 当該システムの継続運用にあたっては、将来的なICT機器が主体の教育だけでなく一般的な生活の中にも浸透していくことは明白であるので、これに慣れるためにも若年層からの経験は必要かと考える。ただし、当該システムを運用する以上は適切な管理を行うことはもちろん、児童・生徒や家庭への負担が増大しないような実務面でのサポートを積極的に行っていただきたい。 ・ ICT機器の有効性は年々高くなっていると思うが、情報漏れ等セキュリティー関係についてもなお一層の安全性を考慮する必要がある。 ・ 学校、教職員の工夫もみられるが、それが不得意な教職員のフォローも行ってもらいたい。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	導入されたICT機器の運用が児童・生徒の学力向上に結び付いているかの効果検証を行いながら、指導者側の更なる技術・技能を高める取り組みを検討いただきたい。また、ICT機器更新に際しては費用対効果を踏まえた上で、効果的・効率的な運用となるよう努めていただきたい。

3 委員会委員名簿

番号	職務	氏名	住所
1	委員長	太田 英和	愛南町満倉
2	副委員長	兵頭 堅次	愛南町須ノ川
3	委員	砂田 陽子	愛南町御荘平城
4	委員	竹平 満之	愛南町御荘長月
5	委員	大下 真紀	愛南町城辺甲
6	委員	岩見 絹	愛南町城辺甲
7	委員	門田 真美	愛南町緑乙
8	委員	山川 美和	愛南町福浦
9	委員	松田 恵子	愛南町福浦

【資料】

行政評価シート

1	基本構想	政策 施策	
	基本計画	基本事業	
	事務事業		
	担当課		

1 妥当性

- ①上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献)
 ②税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)

高い どちらかと言えば高い どちらかと言えば低い 低い

コメント

2 有効性

- ①意図に対して手段が有効か(成果状況)
 ②成果が向上する余地があるか(成果向上余地)

高い どちらかと言えば高い どちらかと言えば低い 低い

コメント

3 効率性

- ①現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1)
 ②他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

高い どちらかと言えば高い どちらかと言えば低い 低い

コメント

4 意見・提言

5 評価

●維持	<input type="checkbox"/> このまま継続
●見直し	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 実施方法の改善 <input type="checkbox"/> 事業統合
●休止	<input type="checkbox"/> 休止
●廃止	<input type="checkbox"/> 廃止

* 評価種別については裏面を参照

事業マネジメントシート 対照種別	評価種別	評価の意味
●維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
●見直し	拡大	予算や人員などのコストの投入を拡大し、より大きな成果を上げることがめざす。
	縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	実施方法の改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
●休止	休止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
●廃止	廃止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。